

# にらさき

企業立地課を新設	.....	P2
財務常任委員会を設置	.....	P3
ここが聞きたい（一般質問）	...	P7



## 就任あいさつ



議長  
望月 正澄 議員



副議長  
野口 紘明 議員

就任にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。  
このたび、皆様のご支援をいただき、第58代議長及び第57代副議長に就任することとなりました。  
身に余る光栄であると同時に、その責任の重大さを痛感いたしているところであります。  
分権時代における住民自治を確立するうえで、議事機関としての地方議会の果たす役割と責任は、ますます重要になってきております。  
住民の代表機関である地方議会は、地域における多様な民意をくみ上げ、自治体の意思を決定する前提としての政策形成機能と執行機関に対する監視機能を、更に充実強化していく必要があると考えております。  
議会運営にあたりましては、不偏不党、公平無私の立場を堅持し、市民の負託に応えられるよう、議員各位とともに一層研鑽に励みます。  
市民の皆様方の厚いご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 9月定例会は、

8日から24日までの17日間の会期で開催しました。

条例の改正、補正予算、平成19年度決算認定など43案件を審議し、すべて可決しました。

一般質問は、9議員が登壇し市政について市長の考えをたきました。

# 企業立地課を新設

本市への企業参入にスピーディに対応し、企業立地の促進並びに企業誘致の強化を図るため、韮崎市行政組織条例を一部改正し、企業立地課の設置とその事務などを規定しました。

## 【一般会計補正予算】

7億2,357万6千円を追加し、総額126億8,208万3千円となりました。

### □ 穂坂自然公園(仮称)整備

#### 補正予算額

**4億1,044万5千円**

旧学園用地の事業化(自然公園)に伴い、市が土地開発基金を活用して、土地開発公社の所有する土地の一部を、買い戻すための経費。

### □ 自然森林道整備

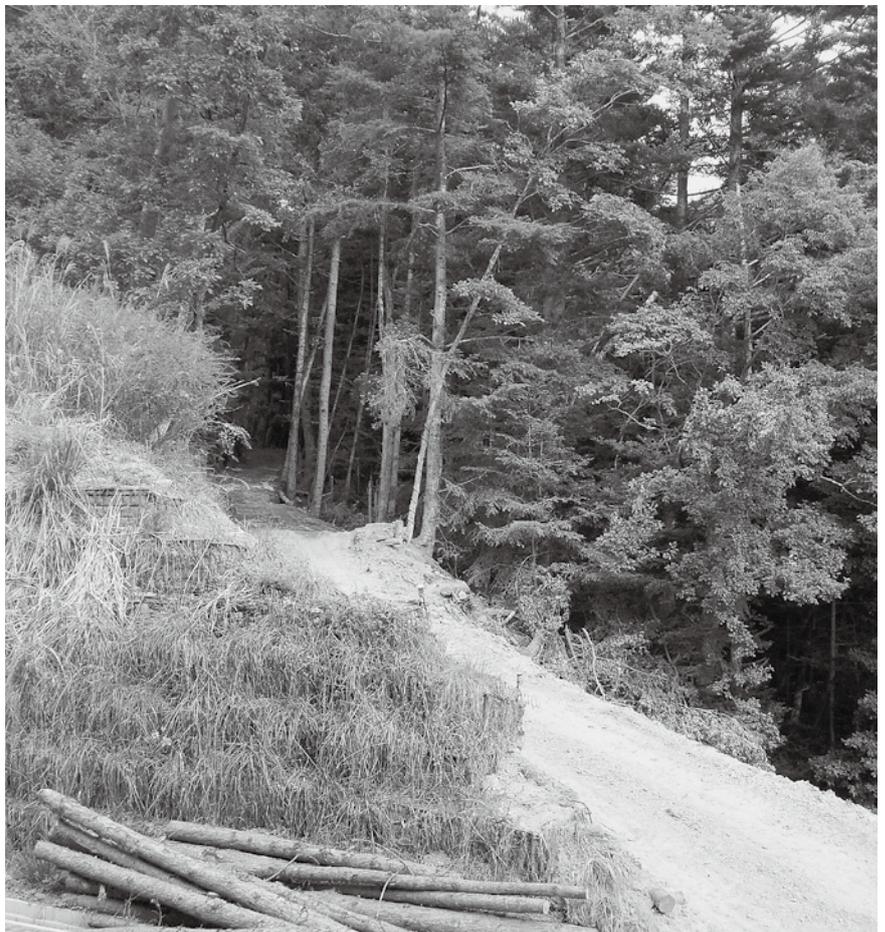
#### 補正予算額 943万8千円

穂坂自然公園整備に伴う、今年度分の遊歩道整備区域を拡大するための経費。

### □ 農工団地造成計画

#### 補正予算額 4,880万円

上ノ山、穂坂地区に農工団地を造成するための測量・詳細設計等、計画策定経費。



自然公園化のための森林道整備が進む学園用地

## 【特別会計等補正予算】

□ 国民健康保険会計

補正予算額

67,414千円

□ 老人保健会計

補正予算額

17,090千円

□ 簡易水道会計

補正予算額

△ 11,260千円

□ 下水道事業会計

補正予算額

△ 16,163千円

□ 介護保険会計

補正予算額

30,400千円

□ 介護サービス事業会計

補正予算額

520千円

□ 水道事業会計

補正予算額

△ 2,139千円

## 【固定資産評価審議委員】

中込一郎氏（大草町）の辞任に伴い、後任者の選任について、市長より議会の同意を求める提案がされ、同意いたしました。

山本 武氏（旭町上條北割）

9月定例会で審議した議案について、ページの関係上全てを掲載できませんが、全件名は、ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

# 財務常任委員会を設置

## 複数所属を認める

### ■ 財務常任委員会

年間の議案のうち、最も重要な議案は「予算」、次に重要なものは「決算」であり、これらは毎年議会に提出されるものである。そのため、本来常任委員会で担当すべきものであります。

地方自治法の改正により、常任委員会の設置数に制限がなくなり、常任委員の複数制が認められたことから、特別委員会を設置して、予算や決算を付託して審査する必要性はなくなりました。

以上の理由により、本市議会では、財務常任委員会を設置し、予算・決算を審査することといたしました。

### ■ 複数所属

① 現状どおり、タテ割（市の課を対象とした）三つの常任委員会のうち一つの委員会に所属する。

② 財務常任委員会には、正副議長・議会選出監査委員を除く全議員が委員として所属する。

## 【財政指標報告】

夕張市の財政破綻をきっかけに、地方公共団体の財政の健全化に関する法律が施行され、平成19年度決算から、財政指標を議会に報告し、公表しなければならないこととされました。

### ■ 健全化判断比率

（ ）内は早期健全化基準

・ 実質赤字比率 黒字のため数値なし

(13.75%)

・ 連結実質赤字比率 黒字のため数値なし

(18.75%)

・ 実質公債費比率 15.60%

(25.00%)

・ 将来負担比率 96.60%

(350.00%)

### ■ 資金不足比率

〈簡易水道・下水道事業特別会計、病院・水道事業会計〉

・ 資金不足を生じていないため数値なし

(20.00%)

◎ いずれの比率も基準を下回っており、健全な財政運営がなされています。

※用語の説明、内容等詳細は広報11月号の9頁をご覧ください。

# 決算特別委員会

決算審査は、正副議長、議会選出監査委員を除く全議員（十七名）で、本会議場において、一問一答方式により行いました。

## 歳入

問 個人市民税2億4千730万円の内訳は

答 税源移譲分1億9千4百万円。定率減税廃止分5千70万円。老年者非課税措置廃止分260万円。

## 総務教育

問 市民バス見直しについて、市公共交通検討協議会は、どの程度進んでいるか

答 6月に公共交通検討協議会を立ち上げた。来年4月には、改正を行う方向で進んでいる。できる限りの利便性を図るための努力をしている。



問 行政アドバイザー設置経費は、どのように反映されたか

答 穂坂自然公園、菲崎百選ビューポイントの選定、田園空間博物館構想など様々な提言を頂いた。

問 増加している外国人に対する支援は

答 外国人が、相談しやすい仕組みづくりの構築に取り組んでいく。

問 私立幼稚園就園奨励費の国庫補助は全額額の3分の1ではないのか

答 国の予算額の範囲内で決められているので、必ずしも3分の1ということではない。



問 有害図書販売機の設置状況は

答 20年8月現在、4台が中田町内に設置されている。



有害図書販売機設置場所

## 市民生活

問 高齢者へのサービスについて、制度を知らない市民が多いが、周知徹底はどのように。直接該当者に知らせるようなことが必要だと思うがどうか

答 広報、ホームページ等で周知している。直接お知らせすることについては、今後検討していく。



委員長  
一木 長博 議員



副委員長  
野口 紘明 議員

**問** 子ども医療費の助成対象を中学生まで拡げているところもあるが、今後どうか

**答** 財政状況を見る中で検討していく。

**問** 甘利児童センターの利用者が特に多いが、管理体制の加配は

**答** 利用者の多い3〜5時に1名多く配置している。



甘利児童センター

**問** 貸出する床下消毒機の使い勝手が悪いという声が多いがどうか

**答** 使いやすい噴霧器を検討していく。

**問** リサイクルごみの売払い収入を、地元へ還元するという件は検討されているか

**答** リサイクルを推進するために、その方向で検討している。



### 産業建設

**問** 有害鳥獣駆除対策ハード面は、限界にきていると思うがどうか

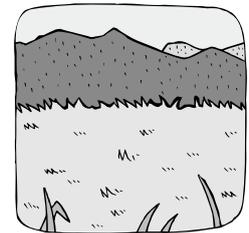
**答** 特効薬的なものはないのが現状であるが、緩衝帯事業を進めている。

**問** 地方病溝渠の改修必要力の調査結果は

**答** 総延長220kmの内、急を要するものは約19km。来年度から対処していく。

**問** 遊休農地は農地面積の何%を占めているか

**答** 14・9%。



**問** 観光客推移、釣り客が減っているがどう対処していくのか

**答** 釣りにきていただけるようなイベント等を考えていく。



### 特別・企業会計

**問** 介護保険について、市町村からの拠出金が、県では19億円も貯まっているか

**答** 9月県議会において、来年度から始まる第4期（21〜23年度）の市町村からの拠出金は無しにすることを決定。

【平成19年度決算額】

会計名	平成19年度決算額 (支出済額)	対前年度		
		増減額	比率	
一般	124億6,726万7千円	△ 9,030万6千円	99.3%	
国民健康保険	31億2,220万6千円	2億8,905万7千円	110.2%	
老人保健	26億1,768万1千円	△ 5,887万7千円	97.8%	
簡易水道	1,992万7千円	△ 320万4千円	86.1%	
下水道事業	15億1,201万5千円	△ 3,466万4千円	97.8%	
介護保険	15億165万9千円	7,819万4千円	105.5%	
介護サービス事業	971万6千円	△ 847万4千円	53.4%	
財産区	150万3千円	△ 380万5千円	28.3%	
水道事業	収益的	8億2,929万9千円	△ 1,286万円	98.5%
	資本的	5億7,332万7千円	1億8,232万円	146.6%
市立病院	収益的	23億3,477万6千円	2,487万7千円	101.1%
	資本的	4億7,407万2千円	3億1,783万9千円	303.4%
合計	254億6,344万8千円	6億8,009万7千円	102.7%	

**問** 今後の病院経営についての考えは

**答** 自治体病院としての本来のあり方を原点に、市民の医療を支えるという点を踏まえ、今後方向性を明確化していく。



市立病院

請願・意見書（9月定例会）

採択

☆父子家庭や母子家庭を「ひとり親家庭」として平等な取り扱いとする請願書

（提出者）  
山梨県父子家庭の会  
代表 佐野臣功さん

父子家庭、母子家庭という区分をせずに、「ひとり親家庭」として平等な取り扱いをして頂きたい。  
また、国の制度で抜け落ちている父子家庭に対する支援を、県と市で実施して頂きたい。

〈市長に請願書を送付〉

採択した請願書を市長に送付するとともに、処理の経過と結果の報告を請求いたしました。

採択

☆道路整備財源の確保に関する意見書

（提出者）  
野口紘明議員  
ほか5名

国においては、道路特定財源の来年度からの一般財源化を閣議決定したところであるが、地方における道路整備の重要性を認識し、地方が必要とする道路整備が引き続き計画的に実施できるように必要な財源を確保するなどの措置を講ずる必要がある。

〈関係機関に意見書を送付〉

採択した意見書を、衆参議長、関係大臣宛に送付いたしました。

第1回(10月)

臨時会

10月14日に招集された第1回臨時会は、17日までの4日間の会期で開催されました。

正副議長の改選が行われ、**新議長に望月正澄議員**、**副議長に野口紘明議員**が当選しました。

その他、条例の改正、人事案件を審議し、常任委員会等の構成等を行いました。

常任委員会等委員構成

平成20年10月17日

<p>■総務教育常任委員会（7名） 政策秘書課・総務課・企画財政課・会計課・議会議務局及び教育委員会の所管する事項並びに他の委員会に属さない事項</p> <p>委員長 土屋 泰一 副委員長 西野 賢一 委員 清水 正雄 石井 錦一 望月 正澄 野口 紘明 小林 伸吉</p>	<p>■市民生活常任委員会（7名） 市民課・税務課・収納課・福祉課・保健課・静心寮及び市立病院の所管する事項</p> <p>委員長 森本由美子 副委員長 山本 雄次 委員 清水 一 小林恵理子 嶋津 鈴子 横森 宏尹 輿石 賢一</p>
<p>■産業建設常任委員会（6名） 農林課・企業立地課・商工観光課・建設課及び上下水道課の所管する事項</p> <p>委員長 藤嶋 英毅 副委員長 岩下 良一 委員 神田 明弘 矢崎 六彦 一木 長博 秋山 泉</p>	<p>■財務常任委員会（17名） （正副議長、監査委員を除く全議員） 予算および決算に関する事項</p> <p>委員長 清水 一 副委員長 秋山 泉</p>
<p>■議会運営委員会（7名） 議会運営及び議長の諮問に関する事項</p> <p>委員長 嶋津 鈴子 副委員長 藤嶋 英毅 委員 土屋 泰一 清水 一 小林恵理子 石井 錦一 秋山 泉</p>	

人事案件に同意

後任者の選任について、市長から議会の同意を求める議案が提出され、次の方を選任することに同意しました。

■議会選出監査委員  
石井 錦一 議員

■教育委員会委員  
輿水 豊氏  
（藤井町・再任）  
榊形 昭平氏  
（旭町・再任）

■山梨県後期高齢者医療  
広域連合議員

森本由美子 議員  
（議長の指名推薦により当選）

# 一般質問

## にらさきの まちづくり ここが聞きたい

### 9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ⇒議会⇒会議録](#)で見ることができます。録画中継も配信しています。



清水 正雄 議員  
【葦政クラブ】

雇用促進住宅の  
廃止による市の  
買取は

(問) 清水議員

雇用・能力開発機構は、  
全国の雇用促進住宅を廃  
止し売却する方針を打出  
した。

退去を迫られる住民に  
支援の手を差し伸べるた  
めに、買取ることが最善  
の方法と考えるが見解は  
いかがか。

駅前商業施設の  
経済効果は

(問) 清水議員

駅前大型商業施設「ラ  
イフガーデンにらさき」  
の建設が急ピッチで進め  
られているが、大型店等  
の進出により、我がまち  
がどのような影響を受

(答) 横内市長

定住人口確保  
の観点から重要  
な問題であると  
認識している。

購入の可否に  
ついて前向きに  
審議していると  
ころであり、雇  
用・能力開発  
機構山梨セン  
ターとの協議を  
10月中を目途に  
進めている。

け、今後どうあるべきか  
を真剣に考える時にきて  
いる。

そこで、経済・雇用の  
効果は、どのように把握  
しているのか。

(答) 横内市長

業者から県に提出され  
た「大規模小売店舗新設



雇用促進住宅葦崎宿舍 (栄1丁目)

届出書」によると、商圏  
としては、葦崎市・北杜  
市を中心に7万人とし、  
アミューズメント棟を除  
いた商業施設全体で年間  
約75億円の売り上げを見  
込み、また雇用人数で  
は、約300人が想定さ  
れている。



## 横森 宏尹 議員

「葎政クラブ」

### 農業の実情を国へ

(問) 横森議員

原油価格の高騰などにより、肥料・農薬、農業資材などが値上がりし、農業経営は大変厳しい状況になっている。

実情を国へ訴え、農産物の価格補償を求めるべきと思うが、考えはいかがか。

(答) 横内市長

昨今の厳しい農業経営について、農産物の安全対策や原油高騰に伴う農産物への価格影響等を十分認識している。

現在の野菜等の価格補填制度の拡充も含めた農産物安定化のための諸施策を、全国市長会を通じて積極的に国へ要望していく。

### 新型インフルエンザ行動マニュアルは

(問) 横森議員

世界保健機構では、殺人ウィルス化するかもし

れない強毒性新型インフルエンザは、「起こるかもしれない」ではなく「いつ起こるか」が問題とされている。

本年3月定例会の答弁で、行動マニュアルを策定することだったが、その後どうなっているのか。

(答) 横内市長

行動マニュアル策定については、被害を最小限にとどめるため、国・県の行動計画に基づき実施すべき対応策を発生段階ごとに明確にした。

また、関係機関との連携を強化する中で、市民と一体となって発生初期に徹底した封じ込め対策に取り組む計画とし、現在(9月)策定の仕上げの段階である。

### 財政状況は

(問) 岩下議員

昨年6月「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、健全化を判断するための4種類の財政指標が定められた。

来年度からは、指標のいずれかが基準値を超えると、財政健全化計画の策定を義務付けられるが、本市の状況はいかがか。

(答) 横内市長

平成19年度決算の状況は、いずれも基準値内の数値である。

現在の財政状況を維持することに、今後も「財政健全化計画」の策定を義務付けられることは無いものと確信している。

るが、行政改革の推進を図り、更に健全化に努めていく。

### 環境問題への対応は

(問) 岩下議員

地球温暖化問題が解決されなければ明日の人類は無い、とさえ言われている。

世界規模の課題が人々の生活に影響を与えており、この対応については、確かに道標は国が示すべきと考えるが、小さくとも何かができる筈である。葎崎市としての取り組みはいかがか。

(答) 横内市長

本市では、アイド

リングストップ活動、ゴミ総量の低減化、分別リサイクル活動の徹底、マイバッグ推進事業の拡大などの取り組みを強化している。今後も、これらの事業を更に推進すると共に、生ゴミの減量化、堆肥化リサイクルなどの取り組みも拡大しながら、地球温暖化対策に努めていく。



アイドリングストップ看板(市役所駐車場)

## 岩下 良一 議員

「共伸クラブ」



農業従事者





## 秋山 泉 議員

「共伸クラブ」

### 自然公園・昆虫王国の内容は

(問) 秋山議員

穂坂町の土地開発公社所有地の具体的な計画がようやく動き出した。今年春に桜100本の苗木を植えたとのことだが、樹種と場所は。

また、昆虫王国なる発想から、昆虫の飼育・繁殖、保護、販売をするという内容が、その具体的な内容は。

(答) 横内市長

桜の樹種はソメイヨシノ、植栽場所は自然公園を横断する進入道路の両

側である。

昆虫の飼育・繁殖・保護方法は、飼育経験を持った方々に指導をお願いし、地元の方たちと行政が協働で進めていきたいと考えているが、販売方法も含め、今後プロジェクトの分科会の中で協議を重ねていく。

### 登山の振興策は

(問) 秋山議員

かつて葦崎市は、南アルプスの玄関口と言われ、奥秩父や甘利山、鳳凰山に向かう登山者で賑わった。登山の振興策として新しい企画があるのかどうか。

れ、甘利山、鳳凰山など誰もが手軽にトレッキング等を楽しむことができる。この長所を活かし、本年度は親子を対象に、茅ヶ岳親子トレッキング教室、一般参加による青木鉱泉・白糸の滝コースを企画したところである。今後にも更に、関係団体と検討を進めていく。



南アルプスの眺望

### 旧葦崎町公民館の建設は

(問) 土屋議員

この件については、機会あるごとに一般質問しているが、一日も早い建設を望むものである。

かねてより私案であるが、葦崎文化村を公民館として利用し、市がその援助をして葦崎町公民館として使用できるかどうか伺いたい。

(答) 奥水教育長

葦崎文化村は、観栄会の所有する施設であるので、今後公民館施設として利用が可能かどうか、



市民会館内の葦崎町公民館

### 穂坂地区工業団地造成の工程は

(問) 土屋議員

この造成地については、市民が一同に興味深く見守っている。なるべく早い時期に着工されることを望むが、完成までどのような工程になっ

ているのか。

(答) 横内市長

本年度内を用途として、葦崎地区農村地域工業等導入実施計画の変更による導入地区の拡大と、この区域の農業振興地域からの除外を全力で実施していく。

資産の権利関係及びコスト試算も含めて、関係者と協議しながら検討していく。

その上で、明年度上半期には、農地転用許可と都市計画上の開発許可を得て、用地買収を行い、下半期には一部造成工事等に着手し、平成22年度末までには、周辺のインフラ整備も含めて造成工事を終えたいと考えている。

(答) 横内市長

本市は自然環境に恵ま

## 土屋 泰一 議員

「葦和クラブ」





## 小林 恵理子 議員

〔日本共産党斐崎市議員〕

### 5歳児健診の実施は

(問) 小林議員

専門家から必要性が指摘されている5歳児健診は、県内で3市がモデル事業に取り組んでおり、実施している町もある。5歳児健診は、集団生活を行う上で認められる問題行動に焦点を当て、社会性や自己統制力の発達などを診ることになるが、本市での実施はいかがか。

(答) 横内市長

発達障害の早期発見や療育のために重要であり、人材の確保、発見後の適正な療育訓練についての課題も多いが、第6次長期総合計画の中に盛り込みながら検討していく。

### 不登校対策は

(問) 小林議員

平成19年度に、学校を30日以上欠席した「不登校」の小中学生は、全国で12万9254人にのぼることがわかり、本県中学生の不登校は、3・67%で全国ワーストという結果だった。本市では、小学校で減少傾向にあるものの、中学校では、17年30人、18年34人、19年34人となっている。改めて少人数学

(答) 輿水教育長

中学校の少人数学級の拡充については、県市町村教育委員会連合会等を通して国及び県へ要望しているところである。また、きめ細やかな指導加配や不登校生徒対応加配等による配置により、個に応じた指導を行っている。



### 自然公園計画は市民合意を

(問) 神田議員

土地開発公社所有地の自然公園化は、最終的には8億円近い財政を必要とする以上、十分に練り上げ成功の見通しをもって臨むべきである。この事業の見通し、市民合意などについて、どのように考えているのか。

(答) 横内市長

公園の整備計画については、全庁体制で検討している。事業内容、経営形態などは、今後「ふるさと地域力発掘支援モデル事業」の地域協議会を検討の場所の一つとして地元の皆様と十分協議していく。具体的な計画案ができれば、広報等で市

民の皆様にお知らせし、意見を伺っていく。

### ライフガーデンにらさきの商店街への影響は

(問) 神田議員

市長は、ライフガーデンにらさきを契機に、今後人も来るまちづくりに向け積極的に取り組んでいくと述べているが、この施設が既存の商店街

に与える影響について、どのように考えているか。

(答) 横内市長

従来の郊外型大型店とは異なる市街地・駅前型のショッピングセンターが、優位性と差別化を發揮することに繋がり、その集客力が周囲の商店街に波及していくことも見込まれ、重要な施設になってくるものと考えている。



工事が進むライフガーデンにらさき

## 神田 明弘 議員

〔日本共産党斐崎市議員〕





## 森本 由美子 議員

〔公明党〕

### 特別支援教育の 充実

(問) 森本議員

今年度の小中学校での特別支援教育の体制と取り組み、また来年は発達障害支援法の見直しの年とされているが、支援策をさらに充実させるための考えはいかがか。

(答) 輿水教育長

特別支援教育コーディネーターを置き、校内委員会を設置しており、学期ごと、また必要に応じ開催している。

委員会では、支援を必要とする児童・生徒へのより良い支援を研究している。

今後は、校内委員会をより一層充実させるよう指導するとともに、特別

支援教育コーディネーターの育成にも努めていく。

### 子どもへの インフルエンザの 助成を

(問) 森本議員

インフルエンザの予防接種は、高齢者を除き法定外となっているが、子どもに対する予防接種を助成している自治体と、そうでない自治体と格差が生じている。  
少子化対策の一環とし

て、取り入れるべきと考  
えるがいかがか。

(答) 横内市長

インフルエンザの予防は、予防接種のみで確実な予防になるものではないため、予防策について、日頃からの生活において、ウイルスに負けない抵抗力を付けるための規則正しい生活を心がけるよう周知を図っている。

接種費用の助成については、他市の状況を見ながら検討していく。



### 災害時の 防災協力は

(問) 小林議員

災害時に、地域防災力の一層の強化をするために、地域企業（事業所）に対して、防災協力活動を求めていることが重要であると考えます。

本市が、既に企業と結んでいる防災協力協定について伺いたい。

(答) 横内市長

中北地域防災アクションプランにより、緊急物資の確保、配送体制の強化を市防災計画に基づき、オギノ等5社と生活物資の調達協定を、県トラック協会・県赤帽組合2社と緊急輸送の協定を、7月に締結したところである。

その他、東京エレクトロンと水防関係避難場所としての協定を行っているが、今年度中には、防災協定に向け協議を進めている。

### 新エネルギーの 導入促進は

(問) 小林議員

太陽光発電、燃料電池システムなどの「新エネルギー」導入促進は、温室効果ガスの抑制に大きく役立つと考えられる。住宅用太陽光発電設置補助金制度の再開と新エネルギー発電装置設置に対する補助金制度

の導入を提案するが、見解はいかがか。

(答) 横内市長

国においては、来年度予算概算要求で、家庭用太陽光発電システムの普及支援の復活など、様々な新・省エネルギーの普及促進策が計上されている。補助金制度導入については、国の動向を見極めながら、検討していく。

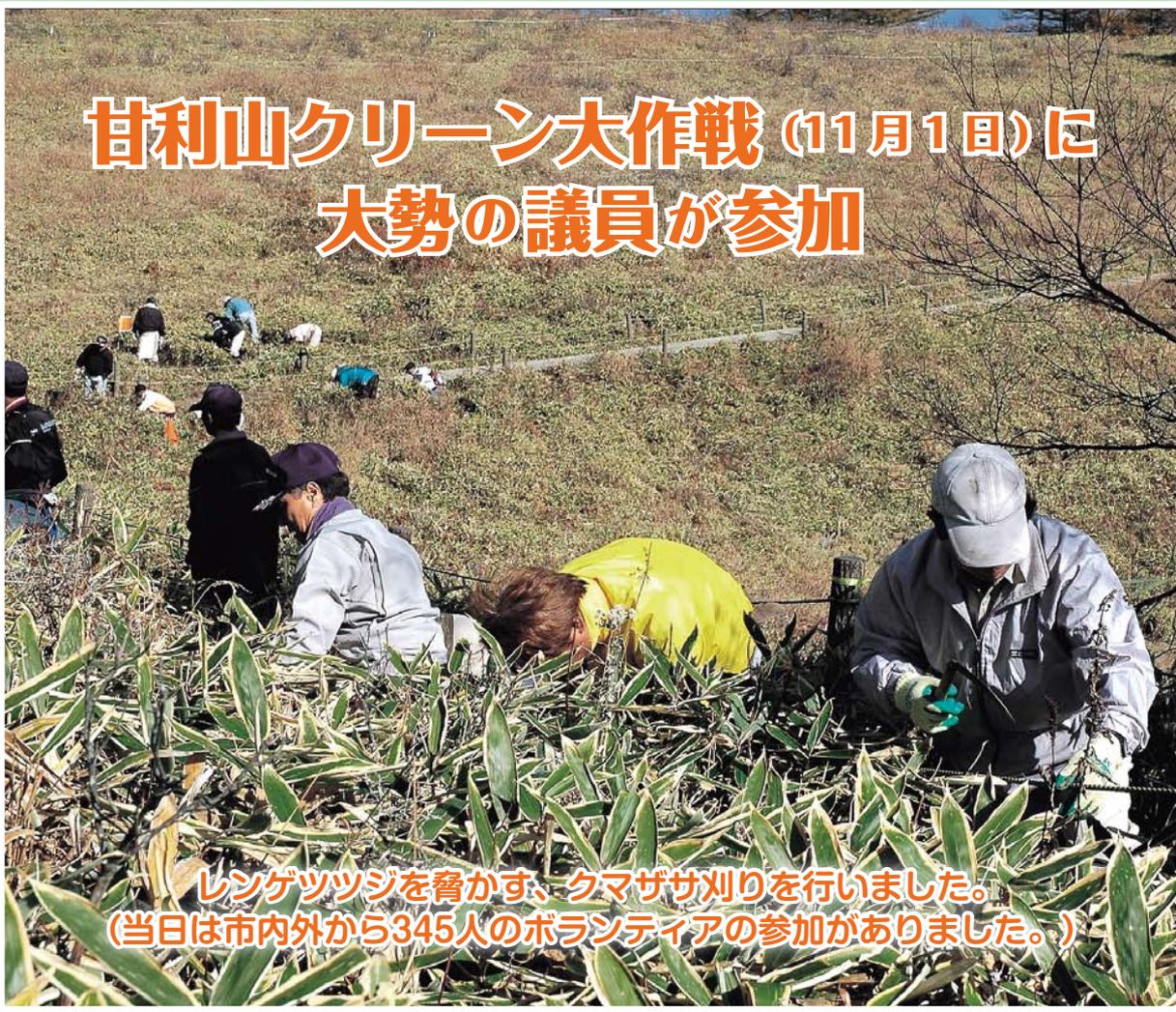


太陽光発電装置（庁舎前）



## 小林 伸吉 議員

〔公明党〕



## 編集後記

月日の経つのは早いもので、昨年の議員改選から1年が経過いたしました。

今号から私たち7名の委員が、議会だよりの編集を担当することとなりました。

前の委員は、カラー化を図り内容を一新するなど、改革に努められましたが、我々も、さらに読みやすく分かりやすい議会だよりの編集に、取り組んでまいりたいと思います。

年末を控え、寒さが厳しさを増してきますが、市民の皆様におかれましては、健康に十分ご留意され、新年をお迎えください。

市議会だより編集委員会

委員長	望月 正澄
副委員長	野口 紘明
委員	土屋 泰一
〃	森本由美子
〃	藤嶋 英毅
〃	清水 一
〃	嶋津 鈴子

表彰

十一月二十日の  
県民の日に、県政  
功績者として受賞  
されました。



土屋 泰一 議員

## 12月定例会予定

12月 8日	開会・諸報告 市長所信表明
15日	一般質問
16日	一般質問
17日	議案審議・委員会
19日	議案審議・閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。  
 ※定例会は、どなたでも傍聴できますので、是非、傍聴にいらして下さい。  
 ※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。